

## 研究会開催通知

(昭和57年1月15日～2月28日)

研究会	日	時	会場	備考
データベース管理システム	1月20日(水)	13:30～17:00	機械振興会館	前号参照
コンピュータビジョン	1月21日(木)	13:00～17:00	京大	同上
自然言語処理	1月22日(金)	10:00～16:00	京大会館	同上
記号処理	1月22日(金)	13:00～17:00	阪大	同上
	1月23日(土)	10:00～12:00		
日本文入力方式	1月27日(水)	14:00～16:30	機械振興会館	同上
人工知能と対話技法	1月28日(木)	13:30～17:00	九大	同上
ソフトウェア工学	2月9日(火)	10:00～17:00	阪大	下記参照
	2月10日(水)	9:30～17:00		
分散処理システム	2月10日(水)	14:00～17:00	機械振興会館	同上
計算機システムの解析と制御	2月12日(金)	10:00～17:00	同上	同上
	2月13日(土)	9:30～13:00		
電子装置設計技術	2月16日(火)	13:30～17:00	同上	同上
医療情報学	2月20日(土)	10:00～17:00	関東通信病院	同上
計算機アーキテクチャ	2月24日(水)	13:00～17:00	第32森ビル	同上

### ◆ 第22回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 16件)

(主査: 木村 泉, 代表幹事: 久保未沙, 花田収悦, 原田賢一)

**日時** 昭和57年2月9日(火) 午前10時～午後5時  
2月10日(水) 午前9時半～午後5時

**会場** 大阪大学・基礎工学部 情報ゼミナール室  
〔豊中市待兼山町 1-1, 阪急宝塚線石橋下車, 東南徒歩18分, または大阪空港よりタクシー3km, Tel. 06 (844) 1151〕

**議題** 2月9日(火)

- (1) プログラムの機能表現から構造表現への自然な変換法について  
酒井三四郎(静岡大・電子科学研), 落水浩一郎(静岡大・工)  
〔概要〕 定義局面から設計局面への自然な変換活動を支援するプログラミング方法論, 作業支援図式について報告する.
- (2) ソフトウェア仕様解析の一方法 大槻 繁, 野木兼六(日立・シ研)  
〔概要〕 要求仕様, 設計仕様, プログラム仕様など, 各種のソフトウェア仕様を統一的に解析する方法を提案し, これを設計レビューに適用した場合の効果に関する若干の考察を行う.
- (3) マン・マシンによるシミュレーション 佐藤 章(鉄研)  
〔概要〕 評価関数が画一的でない. などの意志決定に対するシミュレーションは, 一般に, マン・マシンにより行われる. 試行錯誤の容易なマン・マシン処理方式を提案している.

(4) フルスクリーン表示による FORTRAN プログラムデバッグシステム

高橋和彦 (富士通)

〔概要〕 FORTRAN プログラムのテスト・デバッグ手段として、“プログラム実行のスロービデオ表示”という新概念を導入し、効率的なテスト・デバッグシステムの実現を図った。

(5) あるプログラム実行モニタの変遷 牛島和夫, 河村豊実 (九大・工)

〔概要〕 最初バッチ処理環境のもとで設計・作成した FORTRAN プログラム実行モニタが約5年にわたる計算機使用環境の変化の中で、どのような変遷をたどったかについて述べる。

(6) 複数画面プログラミング環境における画面エディタ MDED

真野芳久, 大蒔和仁, 鳥居宏次 (電総研)

〔概要〕 複数画面端末によるプログラミング環境 MDPS のもとで動いている画面エディタ MDED について報告する。

(7) ポータブル OS の移植と評価

松本 均, 平塚芳隆, 徳永靖夫 (富士通研)

〔概要〕 ポータブル OS の移植を試行し、ミニコンへの OS の移植方法およびポータビリティについて報告する。

(8) データ抽象化言語 CLU による中規模システム作成の経験

久野 靖, 遠城秀和, 木村 泉 (東工大・理)

〔概要〕 CLU を用いて日本語文書処理系を作成した経験から、中規模システム作成にデータ抽象化言語を用いることの利点について考察する。

(9) ソフトウェア遠隔保守に関する実験報告

木村正男, 進藤重平, 藤井裕一, 若木 守 (横須賀通研)

〔概要〕 ソフトウェア遠隔保守システムの実現例および、試行運用結果について、主に利用形態の観点から報告する。

2月10日(水)

(10) Software Architecture の考察 山本正弘 (日本アイ・ビー・エム)

〔概要〕 RAREL という非手順言語を提唱する。この言語は使用者に Software architecture を与え、またこの言語で書かれた System は理解しやすい。

(11) プログラミング言語の改良 —プログラムの文書化の立場から—

高嶋孝明, 大岩 元 (豊橋技科大)

〔概要〕 言語に冗長性を持たせて、本質的処理と例外処理とを書き分けることを提案し、Ratfor での実施例を報告する。

(12) 並列型プロセスの仕様を記述するための言語とその実現

瀬川 清 (早大・理工), 坂東浩之, 野田晴義 (慶大・工)

土居範久 (慶大・情報科学研)

〔概要〕 並列型プロセスの仕様記述技法 (PDR) に基づき開発した言語とその DEC 20 上での処理系について述べる。

(13) 分散型システム記述用言語 Concurrent C の処理系の試作

安藤 誠, 辻野嘉宏, 荒木俊郎, 都倉信樹 (阪大・基礎工)

〔概要〕 筆者らは、すでに Concurrent C を設計し提案しているが、本報告で

は、その処理系の計算機結合システム (NOVA 3-MP/100) での実現方法について述べる。

(14) 自動合成系 LPS のあるプログラミング環境

謝 章文 (京産大・計科研), 大村伸一 (京産大・理)

〔概要〕 LPS での実験例を通して、新しい環境でのプログラム作成過程と人間活動について述べる。

(15) SIMPL のための会話型プログラム作成支援システム

永田守男, 三嶋良武, 鹿野芳之, 原田賢一 (慶大)

〔概要〕 会話的プログラミングの補助に、SIMPL を使って、手続き間情報およびモジュール間情報を随時知らせてくれるシステムを作成した。

(16) 簡易プログラム作成機能を持ったマイコン用データベース

(MyDB) の開発

福谷隆宏, 野末尚次 (鉄研)

〔概要〕 経営管理に適したマイコン用データベースと簡易プログラム作成機構について述べる。

(17) パネル討論 (検討中)

◆ 第 12 回 分散処理システム研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 戸田 巖, 代表幹事: 田中英彦, 村上國男)

日 時 昭和 57 年 2 月 10 日 (水) 午後 2 時 ~ 5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷一東京タワー線東京タワー, 等々力一東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 (1) 大学センタシステムにおける分散処理 平野 哲 (日電)

〔概要〕 大学センタシステムにおける分散処理の考え方とその実施例について述べる。

(2) 分散データベースにおけるトランザクション実行のプレアナリシス

山崎晴明, 吉田 勇, 松下 温 (沖電気)

〔概要〕 分散データベースにおいて、データのコンシステンシ (一貫性) を維持するアルゴリズムの開発は大きな課題となっている。本稿では、従来提案されているデータに対するロックとかタイムスタンプを用いた方式とは観点を変えて、トランザクション相互の排他制御について述べたもので、定型的な業務が与えられた分散データベースシステムを想定している。

(3) DCNA の分散ファイル管理・分散ジョブ管理プロトコルの検討

宮澤正幸, 村田賢太郎, 小川 裕 (横須賀通研)

田村治男 (日電), 土屋和雄 (日立)

小林一夫 (富士通), 吉松敏紀 (沖電気)

〔概要〕 別ノードに存在するファイルを利用するジョブの実行を可能とするためのネットワークのファイル管理機構およびプロトコル, ジョブ仕様について述べる。

(4) UNIX と VOS 3 間での調歩同期によるコンピュータネットワーク

岡本匡人, 木村友則, 鷹野 澄, 安達 淳,

長谷部紀元，石田晴久（東大・理）

〔概要〕 UNIX 上の TTY 端末用回線と VOS3 上の TTY 端末（TSS 用端末）用回線をモデムを通して接続する事により，UNIX 上の端末から VOS 3 の TSS を使用でき又，両システム間でファイル転送を行う事ができる。

## ◆ 第 15 回 計算機システムの解析と制御研究会

（発表件数：8 件）

（主査：高橋延匡，代表幹事：亀田壽夫，益田隆司）

日 時 昭和 57 年 2 月 12 日（金）午前 10 時～午後 5 時

2 月 13 日（土）午前 9 時半～午後 1 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階研修 2 号室（所在地は前記参照）

議 題 特集「設計の評価」

当研究会では，今回上記の特集を組みました．システム設計時点では要求仕様（機能仕様や性能仕様など）に基づき，従来の経験を生かして解析の手法やシミュレーションなどを動員し，設計にあたる．それを，現実的なシステムの運用時点から再評価することにより，システム設計のかかえている問題点を探ろうという試みです．

今回，代表的システムをいくつかとりあげました．多数の方々の参加と討論を期待しております．

### 2 月 12 日（金）

（1）バンキング・システムにおけるシステム評価 川上万寿夫（富士銀行）

〔概要〕 1. 富士銀行におけるシステム評価活動現状

2. システムの信頼性と効率性

3. 今後のシステム設計の方向

（2）分散型総合オンラインシステムの設計と評価

戸田保一（野村コンピュータシステム）

〔概要〕 野村証券の分散型総合オンラインシステムにつき，設計思想，性能，信頼性，運用などの観点からその考え方と評価を述べる．

（3）東北・上越新幹線運転管理システム（COMTRAC）の開発

池田 宏（国鉄）

〔概要〕 東北・上越新幹線の運転管理を行うために開発した COMTRAC のシステム構成評価等について解説する．

（4）住友金属工業（株）和歌山製鉄所 WODAS-II システムの設計と評価

佐藤亮一（住友金属），小田克朗，佐藤 勲，北垣 享（日電）

〔概要〕 住友金属工業（株）和歌山製鉄所 WODAS-II システムでのオンラインシステムの設計および評価についてネットワークプロセッサを中心に述べる．

（5）共同利用形計算機システムの稼動状況解析と性能向上対策の一方法

蓼沼康次，松沢和雄，岡田貞二，小林隆志，藤間孝雄，

赤岩和治（三菱電機），兼原信二（KDD 研究所）

〔概要〕 ソフトウェアモニタと性能評価試験データの統計解析によるシステム性能評価とボトルネックの吸収方法について述べる．

### 2 月 13 日（土）

（6）静止気象衛星“ひまわり 2 号”用データ処理システムについて

佐藤敏一，河北英夫（富士通）

〔概要〕 1981年8月11日打上げられたひまわり2号は，現在，衛星，地上設備すべてについて試験中である．衛星で取得した画像（赤外，可視）は地上で大規模な処理が行われている．この処理システムの内容について報告する．

(7) IAP（内蔵アレイプロセッサ）の設計評価

梅谷征雄，堀越 彌（日立・中研）

〔概要〕 汎用計算機 M-180，M-200 H に選択的に付加されている IPA（内蔵アレイプロセッサ）は，FORTRAN プログラム中の反復演算を高速に処理する機構であり，反復演算の比率がその効果を左右する．また各々の反復演算への適用はコンパイラにより自動的に決定されるので，当機構の効用はコンパイラ的能力にも依存する．そのような点を中心に実プログラムにおける IAP の適用性を解析する．

(8) RIPS：研究情報システム

矢田光治，田中 隆，久野 巧（電総研），

藤野誠治，本田正典（富士通）

〔概要〕 光ファイバケーブルを用いた工業技術院の研究情報システム RIPS (research information processing system) の基本概念，構成，機能運用状況などについて報告する．

◆ 第12回 電子装置設計技術研究会

（発表件数：4件）

（主査：山田昭彦，代表幹事：上田 勤，和田 康）

日 時 昭和57年2月16日（火）午後1時半～5時

会 場 機械振興会館 地下3階2号室（所在地は前記参照）

議 題 (1) マクロ回路を用いた装置機能設計サポート手法

小林一夫，松浦洋征，増尾和行（武蔵野通研）

〔概要〕 VLSI 化装置設計のためのマクロ回路を用いた高水準記述からゲート回路を生成する設計支援法を報告する．

(2) マスタスライス LSI 用レイアウトシステム

岸田邦明，竹内定夫，佐々木久郎，池本康博，

長尾葉介，土屋洋次（日立）

〔概要〕 マスタスライス LSI の自動設計を目的として，論理図からアートワークデータを生成するレイアウトシステムを開発したので概要を報告する．

(3) 高密度プリント基板自動配線の汎用化の一手法

鈴木康晴，石橋昌明，上田 勤（沖電気）

〔概要〕 高密度プリント基板の自動配線において，アルゴリズムの汎用化と性能評価等について述べる．

(4) 可検査性尺度に基づく検査入力生成効率の改善法

下野武志，藤原秀雄，尾崎 弘（阪大・工）

〔概要〕 可検査性（可観測・可制御性）の尺度を用いた発見的手法による検査入力生成効率の改善について考察する．具体的な尺度を用いて，Eアルゴリズム，PODEM アルゴリズムに対してその手法を適用し，実際の回路に対

して評価を行った。

## ◆ 第 12 回 医療情報学研究会

(主査：大島正光，代表幹事：稲田 紘，開原成允，溝口文雄)

日 時 昭和 57 年 2 月 20 日 (土) 午前 10 時～午後 5 時

会 場 関東通信病院・講堂

[品川区東五反田 5-9-22, 国電：五反田駅下車，徒歩 8 分。Tel. 448-6537]

議 題 最近病院情報システムも普及の時代に入り，初期のころの単なる医事会計システムを脱却した真の意味での病院情報システムへ向けての努力が各病院で続けられている。この努力は一言でいえば医事・中央検査部病歴・薬剤等の各システムをどのように連携して1つのシステムにまとめるかということにある。

このようなシステムとして，現在日本では共同利用型，中央集中型，分散型等を含むさまざまな形態のシステムが構築されており，大変興味深いものがある。

これらの病院情報システムについて，現段階で相互に技術的な観点から知識を交換することは大変意義深いことと思われるので，今回の研究会を開催することとなりました。なお，当日は 12 件の発表を予定しております。詳細は次号 (第 23 巻 2 号) に掲載いたします。

## ◆ 第 36 回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数：5 件)

(主査：石井 治，代表幹事：有澤 博，内田俊一)

日 時 昭和 57 年 2 月 24 日 (水) 午後 1 時～5 時

会 場 第 32 森ビル 地下 2 階第一会議室

[東京都港区芝公園 3-2, 地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，国電：浜松町下車，バス：渋谷ー東京タワー線東京タワー，等々力ー東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車，機械振興会館並び浜松町寄り徒歩 1 分，東京タワー向い。Tel. 03 (433) 2211 (大代表)]

議 題 (1) 2 進木構造並列処理システム CORAL プロトタイプの性能評価

信友義弘，高橋義造 (徳島大・工)

[概要] 15 台のプロセッサによりなるプロトタイプとその OS が完成したので，ソートや偏微分方程式の並列処理を行って性能を評価した。

(2) 並列型シミュレータ向アーキテクチャ

越田一郎，中川裕志 (横浜国大・工)

[概要] 離散型シミュレーションの並列処理に関する問題点特にデータフローマシンとの関連および実現するためのアーキテクチャについて述べる。

(3) 計算機複合体用接続装置における Concurrent Pascal の適用

樋口哲野 (慶大)，内田俊一 (電総研)

[概要] 要素計算機 (PE) の処理の一部を PE と並列に実行することのできる高機能接続装置において，その動作を抽象データ型の観点から捉え，Concurrent Pascal によって記述，制御する際の問題を論ずる。

(4) 一斉射撃を用いた並列データ・ルーティング・アルゴリズムについて

梅尾博司 (大阪電通大)，須賀田一博 (阪大・基礎工)

[概要] 一斉射撃を効果的に利用した並列データ，ルーティング，アルゴリズムを提案。モデルはセルオートマトン。

(5) 論理型言語 PROLOG を用いたアーキテクチャの記述と論理シミュレー

ション

内田俊一（電総研），樋口哲野（慶大）

〔概要〕 高レベルのプログラミング言語 PROLOG の使い勝手を調べる目的で  
論理シミュレータを作成したので報告する。

◆ 分散処理システム研究会

昭和 57 年秋にシンポジウムの開催を予定しております。発表希望の方は、論文の 50 字以内の概要を添えて学会事務局研究会係までお申込み下さい。

## 九州支部設立総会について

九州支部設立準備会 代表 田町 常夫

情報処理学会九州支部の設立総会を下記によって開催します。九州および沖縄の各県に在住又は勤務する会員はご出席くださいますようお願いいたします。

記

日 時 昭和 57 年 1 月 27 日（水） 14：00～

会 場 九州大学大型計算機センター多目的講習室

問合せ先 九州大学工学部情報工学科

Tel. 092 (641) 1101 牛島 和夫（内線 5413）・宇津宮孝一（内線 5408）

なお、総会後記念講演をおこないます。

第 5 世代コンピュータへの期待 田中 幸吉（情報処理学会副会長）

## 情報処理学会第 24 回全国大会（昭和 57 年前期）概要

日 時 昭和 57 年 3 月 22 日（月・祝）～24 日（水）

会 場 東京電機大学 7 号館（千代田区神田錦町）

参 加 費 会 員 1,000 円（賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。）

非会員 2,000 円

論文集代 定価 6,000 円（予約価 5,000 円）

（当日、予約者以外にお頒けできるのは、残部のある場合に限りです。）

論文集予約 予約（2 月 28 日締切）を原則とします。本号綴込みの申込書をご利用ください。

プログラム 詳細は 2 月号本欄に掲載されます。一般論文発表者はとくにご注意ください。

特別講演（3 月 22 日 10：00～11：30）

世界における日本技術の役割……………唐津 一（松下通信工業）

招待講演（3 月 23 日 12：30～13：30）

LSI/CAD の現状と課題……………渡辺 誠（電電公社）

パネル討論（2 件）

ソフトウェアの使いやすさ（3 月 22 日 15：00～17：00）……………（司会）石井康雄（富士通研）

知識工学とその応用（3 月 24 日 13：30～14：15）……………（司会）田中幸吉（大阪大学）

一般セッション（論文発表 615 件）

## 関西支部セミナー開催のお知らせ

### 「マイクロコンピュータソフトウェア技術」

——パーソナル・コンピュータを中心として——

前号本欄で会告しましたように、マイクロコンピュータソフトウェア技術についてのセミナーを下記によって開催いたします。

本セミナーでは、2月1, 2の両日東京で開催される同標題のシンポジウムの講師陣で、同じテキストを用いて、内容をより重点にしぼり解説いたします。奮ってご参加下さい。

日 時 昭和57年2月15日(月), 16日(火)  
場 所 (財)関西情報センター・会議室  
参 加 費 会員 10,000円, 非会員 15,000円, 学生会員 5,000円  
申込締切 昭和57年1月末日  
申込方法 所属, 氏名, 会員か否か, 送金方法(住友B/中之島支店 普 No. 908850)等を明記のうえ  
情報処理学会関西支部へ  
〔〒530 大阪市北区中之島5丁目3番51号 大阪国際貿易センタービル4階〕  
〔(財)関西情報センター気付 Tel. (06) 448-6636〕

#### ~~~~~ プログラム ~~~~~

#### 第1日 2月15日(月)

セミナーを開催するにあたって (9:00~9:10) 高島 堅助 (阪大)

総論

・パーソナルコンピュータの展望 (9:10~10:10) 石田 晴久 (東大)

——休 憩——

オペレーティングシステムおよび言語

・パーソナルコンピュータと Ada (10:20~11:20) 和田 英一 (東大)

・パーソナルコンピュータ用 OS の在り方 (11:20~12:20) 野村 浩郷 (武蔵野通研)

——昼 食——

・実時間制御のための分散 OS (13:20~14:20) 塚本 享治 (電総研)

・述語論理型言語 PROLOG と問題解決への応用 (14:20~15:20) 古川 康一 (電総研)

——休 憩——

・ユーザ志向言語のあり方と PIPS の開発 (15:40~16:40) 望月 宏 (コーネル大)

#### 第2日 2月16日(火)

・パーソナルコンピュータへの LISP の実装とグラフィクスへの応用 (9:20~10:20)  
英 憲悦, 太田 昌孝 (マイクロコミュニケーションズ)

ソフトウェア開発

・問題分析図 PAD とその応用 (10:20~11:20) 二村 良彦 (日立)

——休 憩——

・マイクロコンピュータ複合体上での FORTH の開発と  
グラフィクスへの応用 (11:30~12:30) 久保 正敏 (京大)

——昼 食——

標準化

・ローカルネットワーク関連の標準化動向 (13:30~14:30) 森野 和好 (電電公社)

——休 憩——

・マイクロコンピュータシステムに関する標準化動向 (14:50~15:50)  
田島 守彦 (電総研)



## 「マイクロコンピュータソフトウェア技術」

### シンポジウム開催のお知らせ

前号本欄で会合しましたように、標記シンポジウムは来る2月1日(月)、2日(火)に学会事務局所在の機械振興会館で開催されます。締切りが近づきましたので、22巻11号本欄の同案内申込書(裏面)をご利用のうえ、お申込みください。

なお、関西支部でも、同じ講師によるセミナー(シンポジウムにあらず)を大阪で2月15、16の両日に開きますので、開催の趣旨を先分ご了解のうえ、都合のよい方を選び、ご参加ください。

### シンポジウム論文集について

シンポジウム論文集に余部がありますので、購入ご希望の方は下記によりご注文ください。

シンポジウム名	価 格	記 事
第2回ソフトウェア工学 —ソフトウェア製品生産管理—	2,500円	20巻第11号 参照
日本文の入力方式	3,000円	22巻第4号 参照
アドバンスト・データベース・システム —設計・診断, 研究開発, 意志決定のツールとして—	3,000円	22巻第11号 参照

(注) 郵送の場合には、下記送料をあわせて送金ください。  
1冊(300円)、2~3冊(350円)、4冊(400円)、5~6冊(500円)

#### ○送 金 方 法

- a. 現金書留
- b. 銀行振込 第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945 三菱銀行虎ノ門支店 0000608  
(普通預金) 住友銀行虎ノ門支店(東京公務部) 10899 三井銀行本店 4298739  
富士銀行虎ノ門支店 993632  
名義人 社団法人 情執処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

# 斬新な研究分野に焦点をあてた 80 年代指向の 創立 20 周年記念「情報処理叢書」

1980 年代にはいり、ますます目ざましく発展する情報処理の学問・技術の研究分野の拡大ならびに細分化にたいし、本学会会員から「各専門領域の本質を簡潔に伝える手ごろな解説書を発行してほしい」旨の要望が最近とみに寄せられるようになりました。

たまたま 1980 年に本学会創立 20 周年を迎えるにあたり、このような会員の声にこたえ記念事業の一環として、「情報処理叢書」10 余編の刊行を企画いたしました。まことに時宜をえたものと存じます。したがって、本シリーズの主題、内容ならびに、著者を選定するにあたっては、本学会の研究会の協力をえ、下記の出版委員会を構成して、「最新の重要な領域に関する項目を選び、その現状、思想、動向を記述した一連の専門書を実現することを目的として」慎重に審議決定いたしました。

## 叢書出版委員会

**委員長** 高島堅助(阪大)、**幹事** 信国弘毅(電電公社)、高平 叡(電電公社・横須賀通研)、**委員** 開原成允(東大病院)、苗村憲司(電電公社・横須賀通研)、尾上守夫(東大)、植村俊亮(電総研)、淵 一博(電総研)、竹内郁雄(電電公社・武蔵野通研)、原田賢一(慶大)、有澤 博(横浜国大)、益田隆司(筑波大)、加納弘(日立コンピュータエンジニアリング)、田島守彦(電総研)、有山正孝(電通大)

わが国の情報処理の分野を代表する優れた専門家によって執筆された本叢書が、情報処理の技術者、研究者、学生にとっての指南書として、常時座右におかれ愛されることを願ってやみません。

購読希望者は下記により、ご注文ください。(非会員はオーム社扱いです。)

No.	書名	著者名	頁数	会員特価(定価) <sub>(円)</sub>
1	データベースマシン	植村俊亮, 前川 守	170	1,500 (1,900)
2	データベース理論	有澤 博	104	1,200 (1,500)
3	コンピュータネットワーク技術	猪瀬 博(監修) 苗村憲司, 田畑孝一 浅野正一郎	114	1,200 (1,500)
4	医療情報学	開原成允, 稲田 紘	192	1,500 (1,900)
5	論理装置の CAD	樹下行三(編)	114	1,200 (1,500)
6	データベースの論理設計	穂鷹良介	108	1,200 (1,500)
7	数式処理	佐々木建昭	112	1,200 (1,500)
8	記号処理の基礎と応用	後藤英一, 戸島 潔 石畑 清	134	1,200 (1,500)

(注) 郵送の場合には、下記送料をあわせて送金ください。

1 冊 (300 円), 2~3 冊 (350 円), 4 冊 (400 円), 5~7 冊 (500 円), 8 冊 (550 円)

## ○払込口座

振替口座 東京 5-83484

銀行普通口座	三 菱	0000608	} 虎ノ門支店
	第一勧業	1013945	
	住友	40879	
	富士	993632	
	三井	4298739	本店



社団法人 情報処理学会

## 「情報処理叢書」 主要目次

### データベースマシン

- 1章 データベースマシンとは
- 2章 代表的なデータベースマシン
- 3章 固体ディスクとせり機構
- 4章 データマシンの性能—基本演算
- 5章 全体性能
- 6章 おわりに

### データベース理論

- 1章 はじめに—データベース理論の背景
- 2章 データ・モデル論
- 3章 関係データベースと意味論
- 4章 データベース言語とデータベース・システム

### コンピュータネットワーク技術

- 1章 コンピュータネットワーク概論
- 2章 コンピュータネットワークの構成
- 3章 ネットワークアーキテクチャ

あとがき

### 医療情報学

- 1章 医療情報学の誕生と対象分野
- 2章 統計モデルと人工知能—医師診断過程の解析—
- 3章 波形処理と画像処理—心電図自動解析とコンピュータ断層撮影—
- 4章 データベース管理システム—診療データの蓄積と処理—
- 5章 集中システムと分散システム—病院情報システム—
- 6章 大規模システム—地域医療システムとその現状—
- 7章 情報検索—医学文献情報と薬剤情報
- 8章 医療情報処理の社会的側面とその動向

### 9章 医療情報学の確立

あとがき

### 論理装置の CAD

- 1章 概 説
- 2章 論理設計における CAD
- 3章 実装設計における CAD
- 4章 自動検査と CAD
- 5章 CAD システム

### データベースの論理設計

- 1章 データベース設計の発展
- 2章 文章による データベース設計法 SDDM の概要
- 3章 データモデル
- 4章 情報要求の列挙
- 5章 単文による回答の記述
- 6章 ファイル化
- 7章 データベース管理システムとの関係
- 8章 残された問題

演習問題解答

付 録

### 数 式 処 理

- 1章 基本的アルゴリズム
  - 2章 モジュラルゴリズム
  - 3章 高速アルゴリズム
- 付 記

### 記号処理の基礎と応用

- 1章 LISP によるプログラミング
  - 2章 純 LISP への追加機能, アルゴリズムと速度
  - 3章 記憶領域管理とその実現法
  - 4章 MINI-LISP
- 付録 LISP の標準関数